

# 長野県立大学で使用する電力を 再生可能エネルギーに切り替えます！

～ 国公立大学で初めての、再エネ100%による電力調達へ～

長野県立大学は、令和3年(2021年)4月1日から、長野県の公営水力を活用した信州産のCO2フリー電力を調達し、学内での利用を開始します。

この取組みは、中部電力ミライズ株式会社を通じて、長野県企業局の運営する水力発電所でつくられた「信州Greenでんき」を活用することにより、温室効果ガスの削減とエネルギーの地産地消を同時に実現するものです。



長野県立大学は、長野県 SDGs 推進企業登録制度の第1期登録企業として、排出CO2の削減を重点的な取組みの一つに掲げています。

今回の取組みにより、本学が1年間に排出する約1,000 t-CO<sub>2</sub><sup>※</sup>の温室効果ガスのうち、およそ3/4が削減されます。

## <安藤 国威 理事長コメント>

本学は開学以来、グローバルな視野で未来を切り開く、地域に貢献するリーダーの輩出をミッションとして掲げてまいりました。今回の取組みも、持続可能な社会の実現を目指す「攻める」大学として、環境負荷の低減とエネルギーの地産地消に、大きく貢献するものと思っています。

## <金田一 真澄 学長コメント>

本学はSDGsの取組に強い関心を持ち、学生への教育だけでなく、地域や自治体に向けて、持続可能な地域社会づくりの支援・啓発を行ってきました。本学のキャンパスには、すでに省CO<sub>2</sub>・自然エネルギー活用技術がふんだんに導入されており、環境負荷の軽減・抑制に努めています。

この度の再生可能エネルギー100%での電力調達は、持続可能な社会づくり、SDGsの取組みの一つです。本学はこれからも、国、自治体、他大学とさらに連携を深めて、地域社会への貢献をしてまいりますとともに、長野県のゼロカーボン政策、SDGs政策への支援を進めて参ります。

※ 二酸化炭素トン=CO<sub>2</sub> 排出量を示す単位